

製品名: ヒストン H3.3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00058**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

抗原情報

遺伝子名	H3-3A
別名	H3F3; H3.3A
遺伝子 ID	3020
SwissProt ID	P84243
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

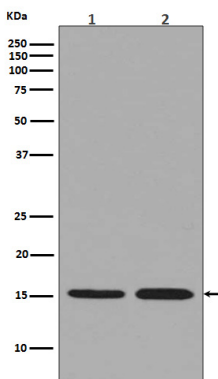
H3 ヌクレオソームのコア成分。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、DNA を鋳型として利用する細胞機構への DNA の

アクセスを制限します。これにより、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAのアクセス性は、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されます。

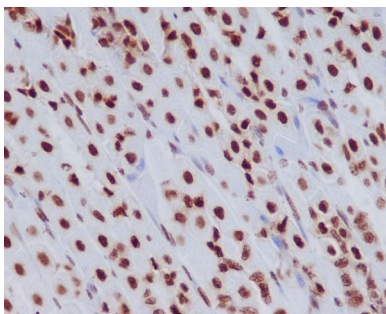
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) HeLa ライセート、(2) NIH/3T3 ライセート中のヒストン H3.3 抗体を用いたウェスタンブロット分析。



ヒストン H3.3 抗体を使用したパラフィン包埋マウス胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。